

今日もラジオで願うこと

afternoon VIEW(金) 正木めぐみ

私は5年前、お母さんになりました。

ふわふわした真綿のような、自分の命より大切なそれは、私の心に『責任感』として、重くずっしりと根を張ったのです。

体重増加がマイペースだった娘は何度も保健センターに通うことになり、その度に『低体重』のハンコを押されました。それはまるで、私への通知表のようでした。

それから私は外出を避け、夜中もタイマーをし、その全てを授乳に捧げました。

赤ちゃん自分だけの、まるで別世界を生きる中で私を繋ぎ止めてくれたもの。それが、ラジオだったのです。

起きてラジオをつければ、いつものDJさんがいて、懐かしい音楽が、楽しかった記憶や大切な人を思い起こさせてくれる。ラジオは私の心に温かな光を差してくれました。

ラジオと共に過ごすうちに赤ちゃんも大きくなり、私の心も成長した頃、この街、宝塚に引っ越してきました。大好きな自然やあたたかな街の人に囲まれた子育ては本当に豊かで、『いつかこの街に恩返しをしたい』そう思うようになったのです。

そんな時、このエフエム宝塚とのご縁を頂きました。本当に嬉しかった。パーソナリティとしてはまだまだへっぽこですが、いつか私も誰かの心に灯るあかりになりたい、そう思っています。だから私は、今日もラジオで願うのです。『あなたにいいことが、たくさんありますように。』